

志木市水道管布設・布設替工事 工事記録写真撮影要綱

志木市上下水道部水道施設課

令和 7 年 1 0 月

1. 目的

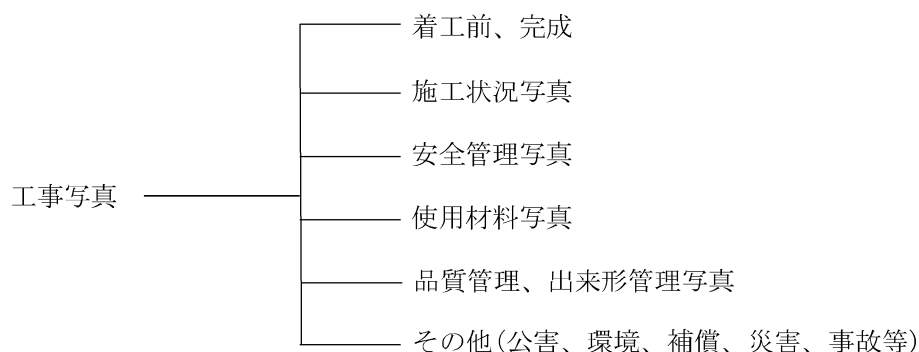
この要領は、配水管布設工事等において施工記録及び工事完成後の出来形確認の資料と
するため、工事写真の撮影及び整理について基本的な事項を定めるものである。

2. 適用

この要綱は、志木市水道管布設・布設替工事施工管理基準（以下、「管理基準」とす
る。」に定める水道管布設工事の工事写真（デジタルカメラ及びフィルムカメラを使用し
た撮影～提出）に適用する。

3. 工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。



4. 撮影方法

(1) 撮影要領

写真は契約図書に基づき、工事が適正に施工されたことを証明するものであり、特に工
事完成後の不可視部分についての立証資料となるものであるため、以下の事項に留意して
撮影する。

- ①写真管理担当者を定め、あらかじめ写真撮影計画を作成し、撮影及び管理を行う。
- ②状況写真は、施工の位置及び状況が容易に確認できるよう家屋等を背景に入れて撮
影する。
なお、1枚で状況が確認出来ない場合は、組写真にする。
- ③品質管理写真は、検査・試験・測定等を行っている全景及び規格・基準等と照合又
は対比して確認できるように近距離から撮影する。
- ④完成写真は、着手前写真と対照できるよう同一箇所から撮影する。
- ⑤被写体の形状・寸法が判定できるように、必ず寸法を示す器具（箱尺又はリボン
テープ等）を入れて撮影する。
- ⑥夜間工事は、夜間作業中であることが判別できるような写真とする。
- ⑦撮影は、必要に応じて遠距離（被写体の全体状況）と近距離（出来形寸法等の確
認）から行う。

(2) 撮影方法

写真の撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した図 3－1 の小黒板を文字が判読できるように被写体とともに写し込むものとする。

- ①工事名
- ②工種等
- ③測点・詳細（位置）
- ④設計寸法
- ⑤実測寸法
- ⑥略図

60cm		
工 事 名		
工 種		位置 NO.
形状・寸法		
受 注 者		
45cm		

図 3－1 小黒板

(3) 撮影機器

撮影機器はデジタルカメラ又は 35 ミリのフィルムカメラとする。デジタルカメラを使用する場合は、有効画素数は黒板等の文字、数値等の内容が判読できる機能、精度を確保できることを指標とする。

(4) 撮影箇所

工事写真は、本要領別表に示す箇所のほか、監督員が指定する箇所または記録に残す必要がある箇所について撮影しなければならない。また、本要領に定めのないものについては、日本水道協会水道工事標準仕様書によるものとする。

(5) 撮影時期

写真管理担当者は、写真撮影の目的を十分に理解し、工事の進捗状況、施工内容を把握して施工前及び施工後等、適切な時期に撮影する。

5. 整理・編集

(1) 写真帳

写真帳の大きさは、4切サイズのフリーアルバム又はA4サイズを標準とする。
なお、表紙には、工事件名、工期、受注者名等を図に示す要領で記入する。

工 事 写 真 帳					
工事件名					
工事番号					
工 期	着 手	令和	年	月	日
	完 成	令和	年	月	日
担当部署					
工事受注者					

図4-1 写真帳表紙

(2) 写真の整理

- ①写真撮影後は、速やかに工事の進行順に写真帳へ整理し、撮影内容の判読不明や誤標記があった場合は、余白に図4-2の写真説明又は略図等を明記する。
- ②写真帳の巻頭に案内図及び位置図を付し、撮影箇所と写真が対比できるようにしておく。
- ③写真は、カラー写真とし、大きさはサービスサイズを標準とする。
- ④電子媒体で記録した写真データのプリントは、カラー印刷とし、大きさについては、原則としてA4サイズ用の紙にサービス版程度を標準にした枚数の写真をプリントする。
- ⑤受注者は、工事記録写真を適切な管理のもとに保管し、監督員の請求時及び検査時に提出する。

天	説
写 真	明
地	文

天	説
写 真	明
地	文

図4-2 写真説明

6. 写真帳の提出

- ①写真は、工事の進行に合わせて、写真帳へ整理し、原則として毎週、監督員に報告する。
- ②工事が完成したときは、工事記録写真として、工事写真帳を監督員に提出する。
- ③原本としては、ネガ（APS の場合はカートリッジフィルム）または電子媒体とする。

7. 電子写真管理基準

電子納品に関わる電子データ管理基準は、国土交通省「デジタル写真管理情報基準」に準拠する。

8. デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督員の承諾を得たうえで実施すること。

別表－撮影内容及び頻度（１／４）

工種		撮影箇所及び内容	撮 影 頻 度	摘 要
一般	現 場 概 況	施工前と施工後の現場の状況を同一箇所 所で同一方向から撮影する。 既設物と占用位置等の関連を撮影する。 その他重要箇所及び指定箇所	実施箇所又は 100m 毎 〃 実施箇所毎	「実施箇所毎」とは 工事現場が点在して いる場合に適用し、 「〇〇m 毎」とは工 事現場が連続してい る場合に適用する 以下各項とも同じ
	安 全 管 理	各種標識類の設置状況 各種保安施設の設置状況 保安要員等交通整理状況	実施箇所又は 100m 毎 〃 〃	
仮設	管布設工事	使用材料 架設状況	実施箇所又は 100m 毎 〃	
	覆 工	施工状況（すりつけ等を含む。）	実施箇所又は 100m 毎	
	仮 設 道 路 設 置 工	設置前の全景 施工状況（舗装構造、幅員、保安さく等） 設置後の全景	実施箇所毎 〃 〃	
	仮 締 切 工	使用材料 仮締切状況	実施箇所毎 〃	
仮設 工	地下連続壁 工	安定液混合、排水処理設備設置状況 掘削状況（使用機械） 掘削幅及び深さ 鉄筋の径、間隔及び継手の形状・寸法 鉄筋かごの幅、長さ、厚さ 鉄筋かごのつり込み状況 コンクリートの打設状況 仕上げ（仕上がり、形状）	実施箇所毎 エレメント毎 〃 〃 〃 〃 〃 〃	
	深 礎 工	掘削状況 径及び深さ ライナープレート設置状況 裏込め注入作業	実施箇所毎 〃 〃 〃	
土工	試 験 堀 工	掘削位置 埋設物の位置、はなれ、土被り、配列 道路復旧状況	全箇所 〃 5 箇所程度ごとに 1 回	
	掘 削 工	布堀状況 舗装こわし状況 掘削状況（機械、人力ごと） 掘削深さ及び幅	実施箇所又は 100m 毎に 1 回 〃 〃 〃	
	発生土処分	運搬経路 受入地状況 残土仮置場の状況（指定したとき）	適所毎（主要幹線道路 等） 受入地毎（許可看板等） 指定場所	
	埋 戻 し 工	埋戻し状況 埋戻し後の検査 各層の厚さ	実施箇所又は 100m 毎に 1 回 〃 〃	
	盛 土 工	巻出し状況（厚さ） 締固め状況	実施箇所毎 〃	

別表－撮影内容及び頻度（２／４）

工 種	撮 影 箇 所 及 び 内 容	撮 影 頻 度	摘 要
基 礎 工	試 験 ぐ い 打込み状況（使用機械） 継手作業状況（溶接状況） 載荷試験状況（試験装置）	実施箇所毎 全箇所 〃	最終貫入量の測定状況も撮影する
	既 製 ぐ い 材料検査 打込み状況（使用機械） 継手作業状況及びぐい頭仕上げ状況 全景とぐい間隔	実施箇所又は 100 本に 1 回 5 本に 1 回 〃 〃	最終貫入量の測定状況も撮影する
	場 所 打 ち ぐ い 安定液混合、排水処理設備設置状況 掘削状況（使用機械） 掘削径及び深さ 鉄筋の径、間隔及び継手の形状・寸法 鉄筋かごの幅、長さ、厚さ 鉄筋かごのつり込み状況 コンクリート試験（スランプ、空気量） コンクリート試験（強度、塩化物量） コンクリートの打設状況 ぐい頭部仕上げ状況（余盛コンクリートの処理） 全景とぐい間隔	実施箇所毎 5 本に 1 回 〃 〃 〃 〃 50 m ³ 毎に 1 回 100 m ³ 毎に 1 回 5 本に 1 回 〃 〃	H 鋼の場合もこれに準じる 30 m ³ 以下は省略 〃
	割ぐり石基礎工 砂利基礎工 ならしコンクリート打設工	施工状況 厚さ及び施工範囲	
		実施箇所毎 〃	
配 管 工	配 管 管のつり込み状況 土被り及び占用位置 管の接合状況（全行程） 既設管との連絡状況（不断水連絡工を含む） 水圧試験状況 溶接部検査状況 オフセット測量	実施箇所又は 100m 毎 〃 〃 〃 継手毎 〃 始点、終点、弁類、その他	伏越し部等特殊な配管は、全箇所撮影
	管 撤 去 管弁類の撤去状況 撤去材の集積又は車上状況 撤去材の処分状況	施箇所又は 100m 毎 〃 必要に応じて	撤去材については、全数を確認できる状況で撮影
	管 保 護 配筋間隔 型枠設置状況 形状・寸法 コンクリート打設状況 鋼材防護等の取付状況	実施箇所毎 〃 〃 〃 全箇所	
	防食用ポリエチレンスリーブ又は溶剤浸透防護スリーブ被覆工	被覆状況（ラップ長さ、固定箇所） 管明示の状況	実施箇所又は 100m
	配 管 配水用ポリエチレン管	配水用ポリエチレンパイプシステム協会の施工マニュアルに基づき施工していることが確認できるよう撮影すること。	実施箇所又は 100m 毎

別表－撮影内容及び頻度（３／４）

工	種	撮 影 箇 所 及 び 内 容	撮 影 頻 度	摘 要
付 属 施 設 築 造 工	基 礎	「基礎工」による	本管は実施箇所毎 小管は５箇所毎	
	弁 据 付 け	弁の据え付け状況(副管、副弁取付け等を含む)	本管は実施箇所毎 小管は５箇所毎	
	鉄 筋 工	鉄筋の径、間隔及び継手の形状・寸法 溶接作業 ・溶接作業状況 ・検査状況	打設ロット毎 200 箇所 に 1 回 〃	
	コンクリートエ 型 枠 工	型枠設置状況（支保工の状況） 弁室の断面寸法及び鉄筋の被り コンクリートの打設状況 弁室仕上がり状況	打設ロット毎 〃 〃 実施所毎	断面の変化する毎
	そ の 他 据 付 け	付属金物（はしご、振止め金具、継足金物、 先掘防止鉄板等）の取付状況 コンクリート側塊積、弁室頂版据付け又は ブロック据付け等の状況 鉄蓋据付け状況 表示板等の取付状況（弁仕様、酸欠）	本管は実施箇所毎 小管は５箇所毎	
水 管 及 び 橋 梁 添 架	水 管 橋	管体及び部材製作状況 下部構造（「仮設工」「土工」「基礎工」 「鉄筋工」「コンクリート工、型枠工」に よる） 架設状況（つり込み、組立て） 接合部検査状況 塗装（「塗装工」による）	1 工事に 1 回又は搬入 毎 1 スパン毎 実施箇所毎	
	橋 梁 添 架	管材料検査 添架の状況 管接合部分検査状況 塗装（「塗装工」による）	搬入毎 1 スパン毎 実施箇所毎	
	落 橋 防 止 装 置 等 あ と 施 土 ア ン カ ー	材料搬入状況 削孔状況 定着状況	材料搬入毎 一施工単位に 1 回 〃	長さ、径、本数等 径、削孔長、孔間隔 アンカー配置、検査 状況
推 進 工	仮 設 備 工	刃口、支圧壁、推進設備の設置状況	実施箇所毎	
	推 進 工	管材料検査（推進用管、さや管） 掘削、残土搬出、裏込め注入作業、砂充填 作業の状況	実施箇所毎	
	配 管 工	「配管工」による		
シ ル ド 工	ト ン ネ ル 築 造	シールド機 掘削状況 一次覆工の組立て状況 ・裏込注入作業 ・トンネル内配管（「配管工」に準じる） 二次覆工（コンクリート充填） ・「コンクリート工、型枠工」による	必要に応じて 〃 100m に 1 回 〃	
	仮 設 工	立坑設備、圧気設備、ロック設備、送排泥設 備、泥水処理設備、運搬設備等の設置状況	実施箇所毎	
	立 坑	「仮設工」「土工」「基礎工」「鉄筋工」「コ ンクリート工、型枠工」による		

別表－撮影内容及び頻度（４／４）

工	種	撮 影 箇 所 及 び 内 容	撮 影 頻 度	摘 要
地盤改良工	注 入 工	材料検査状況 施工機械設備状況 注入状況（注入位置・深さが確認できるもの及び全景） 観測井設置状況及び地下観測状況	搬入ロット毎 実施箇所又は100m 毎 〃	
	改 良 工	材料検査状況 改良部分の床付け状況 厚さ及び施工範囲	実施箇所毎	
舗装工	路 盤 工	敷きならし厚 転圧状況	実施箇所又は100m 毎	
	基 礎 工	敷きならし厚 転圧状況 コア採取状況	実施箇所又は100m 毎 〃 1,000 m ² 毎	
	表 層 工	敷きならし厚 転圧状況 コア採取状況	実施箇所又は100m 毎 〃 1,000 m ² 毎	
	付 帯 設 備	ガードレール及びガードパイプ、植樹、街きよ、側溝、ます、区画線及び道路標示等の撤去及び復旧の施工状況	実施箇所又は指定箇所	
塗装工	管 塗 装 工	下地処理及び塗装状況 検査状況（膜厚、ピンホール、密着等） 仕上がり状況	継手毎又は1 スパンに1 回	
	そ の 他	下地処理及び塗装状況 仕上がり状況	実施箇所毎	
その他	防 護 工	つり防護、受け防護の施工状況（種類別）	実施箇所又は50m 毎	
	支 障 物 件	支障物件の位置、寸法及び処理状況等	実施箇所毎	
	工事完成後確認することが困難な箇所等	水中又は地下に埋没する箇所等	施工箇所	中間検査実施
	他企業の立会いを要するもの	立会い状況	立会い時	
	災 害 及 び 事 故	工事中災害又は事故が発生した場合の現状及び復旧状況	その都度	
	補 償 関 係	被害又は損害状況	その都度	

なお、上記以外の写真管理については国土交通省「土木工事写真管理基準」を準拠する。